

教科		数 学		科 目	数学B		
単位数	2単位	開講年次		3	使用教材	新高校の数学B(数研出版)、ポイントノート数学B	
分類・帯	進学系列・R1						
科目説明	「ベクトル」、「数列」などについて学習します。						
選択生徒像	進学系列を希望する生徒は必ず選択すること。 (数学が得意で、さらに数学に強く興味を持っていることが望ましい。)						
選択条件	「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」を履修していること。						
備 考	本校の数学科目の中で、最も難しい内容です。						
目 標	数列、ベクトル、統計又は数値計算について理解させ、基本的な知識の習得と技術の習得を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。						
評価方法	知識・技能:思考・判断・表現:主体的に学習に取り組む態度=4:3:3 ・定期考査(年4回) ・ノート点検 ・授業態度						
学期	月	単元			指導内容		
前 期	4	第1章 数列			数列の第n項をnの式で表すことで数列が定まることを理解させる。 数列についての基本的な用語の意味を理解させる。		
	5	第1章 数列			等比数列の特徴を理解させる。 Σ記号を導入し、活用できるようにする。 階差数列を利用して一般項を求められるようにする。		
	6	第1章 数列			漸化式・数学的帰納法を理解させる。		
		前期中間考査					
	7	第2章 ベクトル			ベクトルの概念を理解させる。 ベクトルの演算を定義し、線形性に着目させる。		
	9	第2章 ベクトル			ベクトルの内積とその計算方法を理解させる。		
	前期期末考査						
後 期	10	第2章 ベクトル			空間の位置ベクトルの扱い方を習熟させる。		
	11	第2章 ベクトル			空間図形の扱い方を理解させる。 空間ベクトルの内積とその計算方法を理解させる。		
		後期中間考査					
	12	第3章 確率変数と統計的な推測			確率の定義、基本性質の復習をさせる。 確率変数と確率分布、平均、分散、標準偏差について理解させる。		
	1	第3章 確率変数と統計的な推測			二項分布の意味を理解し、その平均、分散、標準偏差を求めることができる。		
	2	学年末考査					
	3						